

めあて

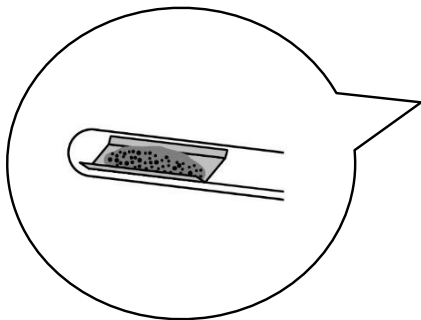
【1】酸化銀の熱分解

* (化学変化) : 物質が別の物質になる変化のこと。 化学反応

<準備するもの>

<実験方法> 教科書P11~

1. 図のような装置を組み立て、アルミニウムはくの皿に (酸化銀) を入れ、試験管の中で加熱する。
*試験管を (水平) にしてアルミニウムはくの皿を (ガラス棒) で静かに押し込む。
試験管は (口に近いところ) をはさむ。



2. 酸化銀の (表面の色) の変化を観察する。全体の色が変わったら、(加熱) を止める。
3. (火のついた線香) を試験管の中に入れ、線香の火の様子の変化を観察する。
4. 試験管や物質が冷えたら、白い紙の上に (アルミニウムはくの皿) を取り出し、(乳棒) でこすり、物質の様子を観察する。
5. 結果をまとめ、加熱前の酸化銀と (加熱後の物質) の性質の違いを比べ、考察を行う。

<結果・気づいたこと>

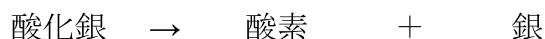
	加熱前の物質	加熱後の物質
色	黒	白
線香のようす		炎を上げて激しく燃えた
こすると		ピカピカと光る。金属光沢。

<考察> ~結果からわかること~

1. 加熱前の物質は（ 黒 ）色、加熱後の物質は（ 白 ）色に変化した。
2. 加熱後に発生した気体に線香の火を近づけると、（ 線香が炎を上げて激しく燃えた ）。
⇒ このことから、発生する気体は、（ 酸素 ）であることがわかる。
3. 加熱後の物質をこすると（ 金属光沢 ）が見られた。
⇒ これは（ 金属 ）の特徴である。
4. 1～3より、酸化銀は加熱によって（ 酸素 ）と（ 金属 銀 ）になったことがわかる。

*POINT

1. 1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化を（① 分解 ）という。
2. 酸化銀が加熱によって（② 酸素 ）と（③ 銀 ）に分かれる化学変化のように、加熱によって起こる（① 分解 ）を特に、（④ 熱分解 ）という。
3. 酸化銀の（④ 熱分解 ）は次のように表せる。



<自己評価> ○をつける

1. 実験の方法について確認することができ
2. 酸化銀の分解について理解できた。

よくできた	できた	まあまあできた	できなかった
4	3	2	1
4	3	2	1

【感想・今日わかったこと】

2年（ ）組（ ）番 氏名

めあて

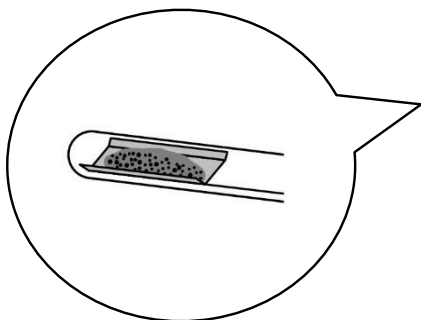
【1】酸化銀の熱分解

* () : _____

<準備するもの>

<実験方法> 教科書P11~

1. 図のような装置を組み立て、アルミニウムはくの皿に () を入れ、試験管の中で加熱する。
* 試験管を () にしてアルミニウムはくの皿を () で静かに押し込む。
試験管は () をはさむ。



2. 酸化銀の () の変化を観察する。全体の色が変わったら、() を止める。
3. () を試験管の中に入れ、線香の火の様子の変化を観察する。
4. 試験管や物質が冷えたら、白い紙の上に () を取り出し、() でこすり、物質の様子を観察する。
5. 結果をまとめ、加熱前の酸化銀と () の性質の違いを比べ、考察を行う。

<結果・気づいたこと>

	加熱前の物質	加熱後の物質
色		
線香のようす		
こすると		

<考察> ~結果からわかること~

1. 加熱前の物質は（ ）色、加熱後の物質は（ ）色に変化した。
2. 加熱後に発生した気体に線香の火を近づけると、
（ ）。
⇒ このことから、発生する気体は、（ ）であることがわかる。
3. 加熱後の物質をこすると（ ）が見られた。
⇒ これは（ ）の特徴である。
4. 1~3より、酸化銀は加熱によって（ ）と（ ）になったことがわかる。

*POINT

1. 1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化を（① ）という。
2. 酸化銀が加熱によって（② ）と（③ ）に分かれる化学変化のように、加熱によって起こる（① ）を特に、（④ ）という。
3. 酸化銀の（④ ）は次のように表せる。

<自己評価> ○をつける

1. 実験の方法について確認することができ
2. 酸化銀の分解について理解できた。

よくできた	できた	まあまあできた	できなかった
4	3	2	1
4	3	2	1

【感想・今日わかったこと】

2年（ ）組（ ）番 氏名